

# 事業概要【酒蔵建設による白川村の新たな魅力の創出と村ごと6次産業化プロジェクト】

申請者	岐阜県白川村					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	900,000千円 (206,430千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整備 事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	地方経済の創生
目的・効果	本事業は、世界遺産白川郷合掌造り集落から一級河川庄川を挟んだ対岸に渡辺酒造店（飛騨市古川町）の酒蔵を建設する事業である。村のウィークポイントである2次産業の新たな拠点となる酒蔵を整備することによって、土壌のできている観光業と村唯一の1次産業である農業の懸け橋をつくり、酒米生産から販売までが全て村の中で完結する村ごと6次産業化を推進することを目的とする。6次産業化による影響は村全体に及び、村民の安定した経済基盤の構築、観光客の満足度向上、観光消費額の増加、さらには関係人口の増加、帰村する子供、新たな移住・定住者の獲得、村内での経済循環システムの構築等、連鎖的な好循環が生み出され、村に「暮らしている人」、「訪れる人」、「これから暮らす人」が笑顔になる持続可能な村づくりを可能とする。						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 世界遺産白川郷合掌造り集落から徒歩10分ほどの一級河川庄川を挟んだ対岸に渡辺酒造店（飛騨市古川町）の酒蔵を建設する。村内の酒米を利用した高付加価値のオリジナルブランドの酒を製造する。酒蔵を起点として農家所得の向上に加え、酒蔵見学、新規特産品の誕生等、観光業における滞在時間や観光消費額の向上にも寄与する。</p> <p>【拠点整備事業経費】 村ごと6次産業化の要となる酒蔵を整備 ・建築工事 206,430千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	白川郷観光協会と連携し、共同で旅行商品の開発に取り組むほか、白川郷学園とタイアップして新たな商品の開発や社会科見学の会場として利用することで子供達の起業家精神の醸成に繋げ、将来のUターン等にも寄与する。また、地元自治会と連携し、村民向けのイベントを開催する等、多様な主体の意見を事業内容へ反映しながら運営していく。					KPI (★は必須KPI) <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	★①地域における観光消費額（+192百万円） ②地域の人口・世帯数（20～39歳）の転出超過数（▲5人） ③酒蔵醸造酒の村内における売上高（+192百万円） ④アントレプレナーシップの造成（+51%） ⑤村内農家の酒米出荷額（+31百万円） ⑥酒蔵の入込数（+281千人）